

JAPAN CUP2025 チアリーディング日本選手権大会 まもなく開幕！
DIVISION 1 中学校部門 昨年大会優勝 伊豆の国チアリーディングチーム
クラブチーム初の2連覇を狙う

JAPAN CUP2025 日本選手権大会の自由演技競技ディビジョン1 中学校部門において、大会2連覇を狙う伊豆の国チアリーディングチーム（静岡県）をご紹介します。

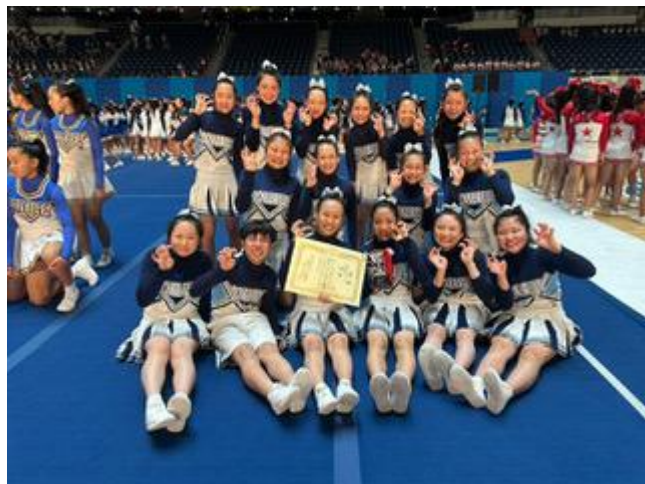
前回大会で創部19年目にして悲願の初優勝を達成。帝京大学で合同練習をした際に「揺れないスタンツ」を間近で見たことで基本練習を徹底し、ミスのない演技を披露した最終日の決勝では300点満点中255.0点を獲得した。

今大会では、昨夏の日本一を経験した選手が10人残っており、今回もディビジョン1で頂点に立つことを目標に練習に励んでいる。

7月末に4泊5日で関西遠征を行い、立命館大学や堺チアリーディングクラブ、箕面自由学園中高、梅花女子大学と合同練習。8月に入ってから千葉明德高で1泊2日の合宿を行った。

仕上がりは順調で、コーチは大会に向けた意気込みをこう明かしてくれた。

「だいぶ演技はできてきました。昨年と違うのは2曲目のパートナースタンツ。3台だったところを4台と台数を増やして、最後のピラミッドの前の展開も増やしています」

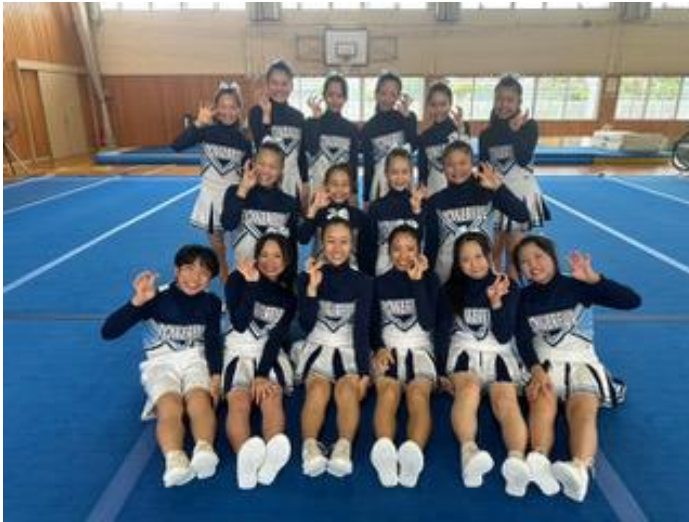


6月末の関東選手権ではディビジョン1中学の部で規定演技競技1位、自由演技競技でも1つのスタンツの落下ミスはあったものの優勝をつかんだ。

関東選手権で準優勝のあつぎチアリーディングチーム（神奈川県）、関西選手権を制した箕面自由学園中学（大阪府）や2位の梅花中学（大阪府）、3位の堺チアリーディングクラブ（大阪府）も高得点を出す可能性を秘めており、ジャパンカップではレベルの高い優勝争いになりそうだ。

「地区予選（関東選手権）も上位の点数が近かったので、ジャパンカップではどうなるか分らないと思っています。とにかくノーミスの演技をしないと優勝には届かない。本番で 100%の力が出せるかにかかっています」

優勝した昨年のチームを土台にしつつ、この 1 年で成長した選手もたくさんいる。



同コーチは「気持ちを表現することがあまり上手くなく、気合が入り切らないこともありました。チーム作りが昨年よりは簡単ではなかった」と言いつつも、こんな期待を寄せている。

「2 年生に 2 人、1 年生に 4 人。今までチームに入れなかった選手が (A チームに) 選ばれている。その子たちはディビジョン 1 のマットに立つことが初めてなんです。昨年より難易度の高いことをやっているのので、昨年の点数を超えることを目標にしています。ピタッ

と止めて、完成度を高くする。後は、技を決められるかどうかだと思っています」

2006 年にチームを立ち上げ、創部 20 年目。

監督はこうに話している。

「昨年はまぐれ。大会前まではボロボロだったのに、中学生の選手たちが逆に開き直ってつかんだ優勝だった。今年は（中学校部門）レベルが高い。ノーミスで自分たちの演技をやったところが勝つ。減点なしの演技を目指しますよ」



節目の年に再び頂点に立つために、夏休みは週 5 日の練習で鍛え抜いてきた。

昨年の夏の再現を一。

代々木のマットで伊豆の国チアリーディングチーム POWERFUL KIDS が輝く瞬間が訪れる。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.